

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I			単位数	4
学科	工業科	履修学年	1	コース		必修・選択	必修
教科書	MY WAY English Communication I (三省堂)						
副教材等	MY WAY English Communication I WORKBOOK STANDARD (三省堂) 英単語ターゲット1200 英和辞典						

学習目標	<p>1. 英語を用いた言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>2. 英語を通じて、さまざまな話題について情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>3. 文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
------	---

指導の重点	<p>生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア 対話や放送、説明などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要を把握する。</p> <p>イ 電子メールやパンフレット、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要を把握する。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う。</p> <p>ウ 情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う。また、対話や説明に対して、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う。</p> <p>エ 様々な話題について、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える。また、書いた内容を読み合い、質疑応答したり、意見や感想を伝え合う。</p>
-------	--

学習計画	学期(時数)	学習項目	学習内容(学習活動)	評価方法
	1学期(40)	Lesson 1 Proverbs Around the World		ことわざ、比較文化 現在形・過去形・進行形・SVO(0=that節)
Lesson 2 Iwago Mitsuaki-An Animal Photographer			自然、共生 助動詞・受け身・助動詞+受け身	
Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space			若者、食文化 動名詞・to不定詞の名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法	
Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh			芸術、異文化 現在完了形・現在完了進行形・過去完了形	
2学期(48)	Lesson 5 Endangered Languages		ことば、比較文化 関係代名詞・It is ...to不定詞	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、ノート等各種提出物などから総合的に判断し、評価する。
	Lesson 6 A Wheelchair Traveler		異文化、生き方、共生 現在分詞・過去分詞の形容詞的用法・分詞構文・It is ...that	
	Lesson 7 The Fugees		平和、共生、スポーツ 関係副詞・比較級・最上級	

	Lesson 8 Avatar Robots	科学、生き方、共生 条件を表す if 節・仮定法過去・ I wish～/as if～	
3 学期 (40)	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination	人物、生き方 SVO ₁ O ₂ (O ₂ =how to～)・SVO+to 不 定詞・SVOC(C=動詞の原形、現在 分詞)	定期考査や小 テストの成績、授 業中の態度・発 表、ノート等各種 提出物などから 総合的に判断し、 評価する。
	Lesson 10 SDGs-Sustainable Development Goals	地球環境 プレゼンテーション・学校生活	
計 1 2 8 時間 (5 5 分授業)			
評価規準と 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組 む態度
	英語の音声や語彙・表現・ 文法、言語の働きなどにつ いて理解し、これらの知識 を実際のコミュニケーション において適切に活用 しようとしている。	写真を参考に聞き取ったり 読み取ったものから概 要や要点、必要な情報を把 握している。基本的な語句 や文を用いて、考えを話し たり、書いて伝えようとし ている。	文化に対する理解を深 め、聞き手、読み手、話 し手、書き手に配慮しな がら主体的、自律的に英 語でコミュニケーション を図ろうとしている。
	[評価方法] 以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポ ート等各種提出物などから総合的に判断し、達成率が 80%以 上を A、79～50%を B、50%未満を C と評価する。		